

2006年春季タッチフットボール選手権大会

関東オープン VFL、EFL、MIX 運営要綱

1、日程

2月 19日(日)	チャレンジマッチ@宇奈根 - A・B 半面
2月 25日(土)	審判/コーチ講習会@宇奈根 (実地講習形式) C・D 半面
3月 5日(日)	VFL 予選 / EFL 公式戦 第1週 宇奈根
3月 25日(土)	VFL 予選 / EFL 公式戦 第2週 宇奈根
4月 2日(日)	VFL 予選 / EFL 公式戦 第3週 宇奈根
4月 22日(土)	東日本大会 / EFL 公式戦 第4週 宇奈根
5月 3日(祝)	VFL 予備日 / EFL 公式戦 第5週 宇奈根
5月 14日(日)	全国大会@横浜スタジアム
5月 20日(土)	MIX 関東選手権&チャレンジマッチ
6月 3日(土)	One-Day トーナメント&チャレンジマッチ
6月 18日(日)	One-Day トーナメント&チャレンジマッチ

2、試合場所 宇奈根多目的広場、その他 (詳細は各ブロックゲームスケジュールを参照のこと)

3、運営要綱詳細 - 2 ページ

4、競技規則 - 4 ページ

5、東日本大会について - 9 ページ

3 運営要綱詳細

1. 運営費用

V F L (選手権予選出場) 及び E F L は 1 チーム、10,000 円とする。(06 年度分)

運営費用は 05 年以降、年間徴収とし、半季参加の場合も返金はありません。

M I X は 1 チーム 2,000 円とし、全国大会予選の行われる秋季に徴収します。

V F L は春季全国大会のチケット購入代金 ¥500 x チーム登録者人数分も振り込む。

上記運営費は、2月28日(火)までに下記指定の口座に納入すること。

(V F L のシュガーボールチケット代は登録人数決定後の振込で可)

【関東オープン連盟振込み口座】

みずほ銀行 稲荷町支店(090) 普通 1519796

口座名義 JTFA 関東オープン 会計 久保田孝太郎

ジエイティエフエイカントウオープンレンメイ カイケイ クボタコウタロウ

2. V F L 参加要件

V F L (Victory Football League) においては春季の全国大会@横浜スタジアム、秋季のファイナルタッチ@千葉マリスタジアムの出場権をかけたリーグ戦であることが前提である。そのため上記運営費用のほか、春季全国大会/ファイナルタッチへのチーム内でのベスト審判を選出し、各大会の運営にあたる事を参加要件とする。

3. V F L での棄権の取扱い

棄権したチームは全国大会出場トーナメントである東日本大会出場が出来ないこととする。但し、対戦予定チームが棄権した際の上位チームの順位付けについては従来通り 14 点を得失点に加算する方法で決定する。

【理由】現在の棄権したチームの勝率及び得失点差の決定方法からすると 14 - 0 という点差は便宜上のものであり、各ブロック内での順位付けを決定する際に意図的に棄権するチームが発生する事を防止するため。

タッチフットボール公式競技規則

第 1 章、試合 1. タッチフットボール

6 人制タッチフットボールは、各 6 名で構成する 2 チームが、長方形のフィールドにおいて... 省略 ... 6 人以上のメンバーで試合成立。

4. 全国大会出場時のユニフォーム規程

全国大会出場する場合はユニフォームの上下を揃えて参加することとする。背番号についても競技規則を遵守することとする。本規程は、VFL 関東大会期間中も競技規則に沿って参加することを原則とし、EFL に関しては、従来通り不問とします。

< 当規定遵守背景 >

タッチフットボールも競技スポーツとして活動を行っている以上、TF 公式競技規則に則り、ユニフォームの統一化は当然図られるべきと考えられる為。

タッチフットボール公式競技規則

第4章、装具 2、番号

全ての選手のジャージー背部には、明確に識別できる 1 番から 99 番までの番号をつけなければならない。数字の大きさは幅 20 センチ、高さ 30 センチ以上が望ましい。同一チームの同じ番号の選手が、同一ダウンにフィールドに出場してはならない。
相手を混乱させる目的で試合途中に番号を変更してはならない。

5. 大会運営に関する関東オープン連盟理事会への一任

VFL 及び EFL 参加チームの大会直前での不参加等によるブロック編成並びに組合せについては、これを関東オープン連盟理事会に一任する。

6. フィールドグッズ管理徹底について

VFL 及び EFL の各ブロック内において審判グッズ等の管理を徹底する事とする。

- 1) 審判グッズの管理責任者は各ブロックの正・副ブロック長とする。
- 2) ブロック内での所在を確実なものとする。
- 3) 春季と秋季でのグッズ管理者の引継ぎを明確にする。(所在を明らかにする)
- 4) ズッスの個数確認(オフィシャル・グッズシート参照の上)を確実におこなう。
- 5) 審判ジャージーは次の使用者の為、洗濯をする。
- 6) ブロック長はグッズのうち欠品破損したものがあつた場合にはメールにて運営部宛てで連絡方。メールアドレス：jtfa_east@goo.jp
件名：××ブロックグッズの件 宛先：運営部宛

7. 負傷事故報告

大会当日試合会場にて事故が発生した場合、速やかに関東オープン理事に報告する事。
また、試合、練習を問わず、通院、入院する負傷が起きた場合、至急保険会社へ「スポーツ安全協会傷害保険事故通知」で連絡するとともに、1週間以内に協会事務局にそのコピーをFAXまたは郵送すること。

8. その他

- 1) イエローフラッグ、ホイッスル(各4個以上)各チームで用意すること。
- 2) 試合後、ゴミ等を残さぬこと(ゴミはチームで責任を持って持ち帰る事とする。)
- 3) 宇奈根駐車場は台数に限りがあるので、可能な限り徒歩でお願いします。
車で来場の場合、各チームに配布している駐車券をフロントガラス等に表示する事。
駐車券のない車は駐車禁止とします。駐車可能台数は1チーム当り2台です。
- 4) 試合中に退場者が出た場合、その選手は次の試合に出場できない。
- 5) 試合が没収となった場合、そのチームは次の試合に出場できず0 - 14で不戦敗となる。
- 6) VFL 所属チームは、春季の全国大会@横浜スタジアムの審判及び運営に参加となります。
なお、人選等はブロック長を通じて各チームに後日連絡します。
- 7) 上記以外に運営に必要な大会規定が発生した場合は JTFA 関東オープン連盟理事会 及び運営会議で順次制定し施行する。

4 競技規則

関東オープン連盟 審判部

原則として日本タッチフットボール協会公認「タッチフットボール公式競技規則レベル2 (中級)」を採用する。

但し、一部関東オープン連盟独自の規則を適用する。また、試合中の判定、罰則等は担当審判に一任する。判定等の質問、質疑については審判部と試合後協議すること。

関東オープン連盟独自の規則は以下の通りとする。

公式競技規則 P, 7

第4章 装具

1、ユニフォーム 1

同一チームの選手は、同一色で同一デザインのジャージーとパンツを着用せねばならない。女子は膝丈のパンツ、スパッツが望ましい。

全ての選手は膝を完全に覆うサポーターを着用せねばならない。

3、靴 2

ゴム底の靴を着用しなければならない。但し、審判が適正と認め、相手チームが合意した場合は、合成樹脂底の靴を使用することができる。

関東オープン連盟規則

1 出場チームは統一した番号付きのユニフォームを着用する。

対戦チームとユニフォームの色が類似している場合、一方は対照的なTシャツ等でも可能とする。また、全ての選手は、膝を完全に覆うサポーターの着用が望ましい。

2 ゴルフ・野球・陸上競技用等、危害を与える恐れのある靴は不可。

フットボール用の靴は可とする。但、金属のポイント(クリーツ)は不可。

公式競技規則 P, 8

2、試合開始 1

試合時間は32分間とし、各8分間の4つのクォーター(Q)に分け、順番に第1Q、第2Q、第3Q、第4Qとする。全てのQは、ボールがデッドとなるまで終了とならない。

5、チームタイムアウト 2

各チームは前半、後半各2回のチーム・タイムアウトを使用出来る。

チーム・タイムアウトは60秒間である。

チーム・タイムアウトは出場している選手が審判に申請する。

関東オープン連盟規則

第2、4Qの残り2分間の正式計時(2ミニッツ)も含めて、公式競技規則を原則とする。

(98年秋季大会より)

公式競技規則 P、14

8、スクリーメージキックにおける、レベルに応じた特例

競技レベルに応じた大会特別規則とし、下記の宣言パントを適用できる。

ダウン開始前に、攻撃チームが次のダウンにスクリーメージキック(パント)を行なうことを審判に通告、審判が守備チームにパントを宣言すれば、宣言パントとなる。宣言パントでは、攻撃チーム、守備チームともにボールがキックされるまで、ニュートラル・ゾーンに侵入してはならない。

(反則 攻撃 エンクローチメント 守備 オフサイド 罰則 5ヤード)

関東オープン連盟規則

パントを行なう場合は必ず宣言しなくてはならない。

(反則 パーソナルファール・スポーツマンらしからぬ行為 罰則 15ヤード)

宣言パントにおいては、審判のレディー・フォー・プレーの宣言後、25秒以内に、攻撃チームはスクリーメージキックを行わなければならない。

(反則 不正な試合の遅延 罰則 サクシーディング・スポットから5ヤード)

公式競技規則 P、20

6、接触における手と腕の使用

全国オープン部門統一規則

6、接触における手と腕の使用に次の項目を追加する。

ホールディングの罰則は10ヤードとする。

第2章タッチ

1、タッチ

2)-(1) タッチは両方の手のひらすべてが、同時に相手の身体に触れなければならない。(片手ずつのいわゆる追いタッチは認められない。)

関東オープン連盟規則

アンダーライン部分を、「手が」とする。

その他

2点トライを設ける。 公式競技規則 P、25

ノンコンタクトファールは試合関係者全てに適用する。 " P、22・23

セフティー、タッチバックの解釈について? " P、25 & 本要綱7、8頁

不戦勝、不戦敗は14 0とする。棄権に関する詳細は別途定める要綱規程参照方。

リーグ戦同率の場合は、

1、直接対決の結果

2、当該チーム同士の得失点差の順で決定。

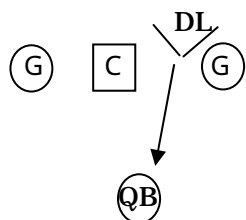
ラインメンへのハンドオフは可とする。

但、センターからQBへ明らかにスナップバックすること。

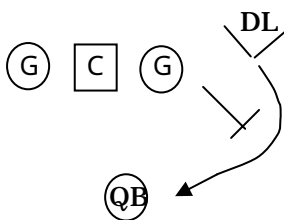
また、危険なプレーとみなされた場合は反則となる。

ボールデッドの際、ボールキャリアーは速やかにボールを審判に手渡すこと。

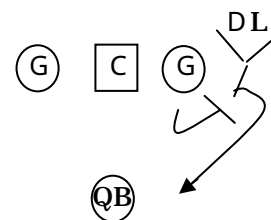
ディフェンスのラッシュについて下記を注意のこと。



C、Gがタイトにセットしている場合、DLは強引にCとGの間に入り込むのはDLがCとGとの接触を前提した行為と考えられるので注意すること。



DLがQBに近づく時その進路に対し、Gが横からブロックするのは反則である。



DLがQBに近づくその進路にGが居る場合にGを避けてQBに近付かなければならない。

公式競技規則 P、12 (97年秋季大会よりこちらを採用)

4. キックオフのレシーブ体型

キックオフのボールがキックされる時、レシーブチームは、全員がボールのあるヤードラインから10ヤード手前のヤードラインを超えてはならない。 1

(反則 オフサイド 罰則 プレブラス・スポットから5ヤード)

タッチバックか？ セフティーか？ について

キックオフ・スクリーメージキックで、リターナーが触った（確保した）ボールがエンドゾーン内でデッドとなった場合、タッチバックにするか、セフティーとするか、ということですが以下のように取り扱います。

「取り扱い」

1. キックされたボールが、インフィールドにいるリターンチームの選手の手に触ってゴールライン後方でボールが地面に落ちた（ボールデッドとなった）場合、すべてタッチバックとする。
2. キックされたボールを、リターンチームの選手がインフィールドで確保した（体勢を取り戻した）後、エンドゾーン内でボールがデッドとなった場合は、セフティーとする。

「解説」

キックされたボールを、ゴールラインより前方でさわってしまったが、偶然エンドゾーン内に落ちてしまった場合を、セフティーとするのはちょっとかわいそうな気がします。

また、すべての審判に故意か偶然かを判定させるのは難しいと思われます。

1の場合、偶然か故意かに関係なく（判定せず）、すべてタッチバックとします。

2で、「確保した（体勢を取り戻した）後」と条件をつけたのは、ボールを取った勢いでエンドゾーン内に入ったボールデッドとなった場合と、リターナーの意志でエンドゾーン内に入ってボールデッドとなった場合の区別をつけようということです。

ボールを確保した（体勢を取り戻した）時点でキックプレーは終了し、リターンチームの攻撃に変わったと考えれば、攻撃中にエンドゾーン内でボールデッドとなった場合と同じで、セフティーとなるわけです。

（例1）

リターナーの頭上を越え、エンドゾーン方向に転がっていったキックボールを、リターナーが押し出す形でゴールラインを越えさせ、エンドゾーン内でボールデッドとなった。

タッチバック（故意か偶然か判明しないため）

（例2）

リターナーがエンドゾーン内でボールを確保、リターンしようとエンドゾーン内を何歩か前進したが（エンドゾーンから出ていない）キックチームが目の前まで迫っていたのでニーダウンした。

タッチバック（「インフィールドで確保した」が条件であるため。）

（例3）

リターナーが、インフィールドでボールをキャッチ、その勢いでそのままエンドゾーン内に入り転倒した。

タッチバック（体勢を取り戻したとは言えないため）
（この場合は、「体勢を取り戻した」としないこととします。）

（例４）

リターナーがインフィールドでボールをキャッチした後（エンドゾーンには入っていない）キッキングチームの選手に追い回され、エンドゾーン内でタッチされた。

セイフティー（「体勢を取り戻した後」であるため）

「ルール改正・補足」（ただし、関東オープンのローカルルールとして）

ルールブックの一部削除

「第５編 キック 第１章 キックオフ ８．ゴールラインを越えたキックオフ」と

「第５編 キック 第２章 スクリーメージキック ７．ゴールラインを越えたキックオフ」にある「レシーブチームに触られることなく」を削除します。

レシーブチームが触った後でもタッチバックとする判定があるため。

ルールブックに追加

「第９編 得点 第４章 １．セイフティー（４）その他、レフリーがセイフティーと判断した場合。の例として、

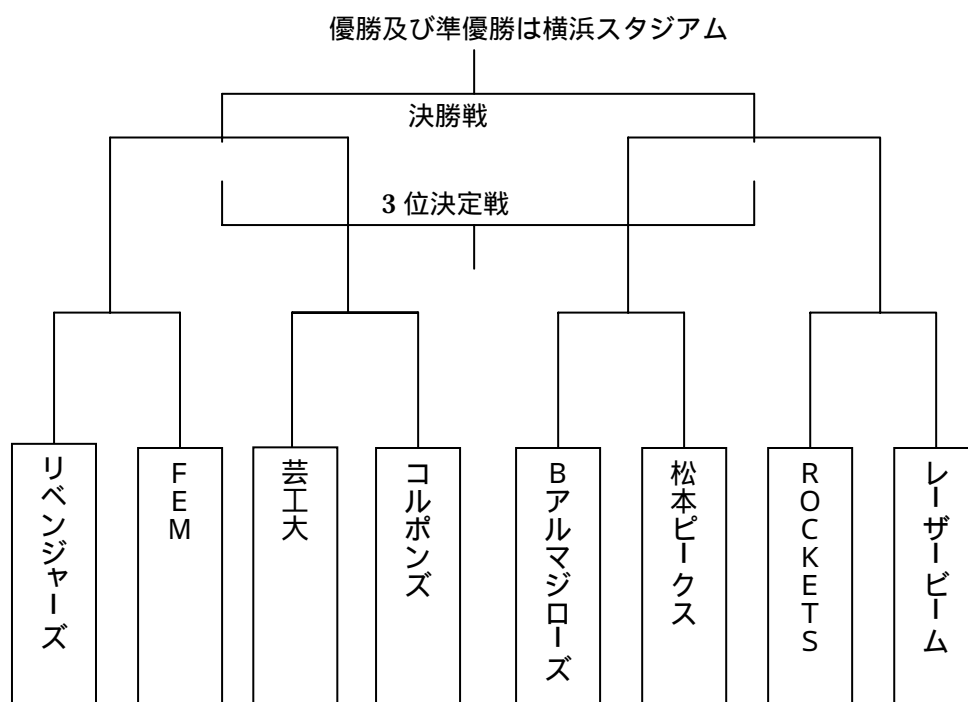
キックオフまたはスクリーメージキックで、キックされたボールを、リターンチームの選手がインフィールドで確保した（体勢を取り戻した）後、エンドゾーン内でボールがデッドとなった場合。

を加える。規則的には、キックオフ、スクリーメージキックで、セイフティーになる場合を規定しただけで、それ以外はすべてタッチバックと判定することになります。

5 東日本大会

年月日 : 平成 18 年 4 月 22 日(土) 予備日 : 5 月 3 日(祝)
 場所 : 川崎市高津区 宇奈根多目的広場
 参加資格: 春季公式戦 1 部ブロック上位 3 チーム、2 部ブロック上位 3 チーム
 東北代表 1 チーム、甲信越代表 1 チーム

組み合わせ



東北、甲信越、関東の 3 地区の出場抽選は、JTFA 理事会で抽選を行い決定しました。

	Aフィールド	審判・チェーン	Bフィールド	審判・チェーン
8:00	グラウンド整備	レーザー/ アルマジ	ロケッツ/アルマジ	
9:00		レーザー・ロケッツ	アルマジ・ロケッツ	
11:00		リベ・FEM	コルポنز・FEM	
13:00		の敗者・ の敗者	の敗者・ の敗者	
15:00		試合のない関東敗者チーム	試合のない関東敗者チーム	

フィールドグッズ管理に関して

Aフィールドの用具は 1 部ブロック用を使用し、Bフィールドの用具は 2 部 A ブロック用を使用する。シュガーボウル出場チーム(優勝チーム、準優勝チーム及び 3 位チーム)がフィールドグッズ、タイマーを持ち帰り、横浜スタジアムに持参する。